※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	１単位	年次	１年前期
使用教科書	高等学校『新地理総合』　（帝国書院）新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	CONNECT　地理総合　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・持続可能な社会づくりをめざし、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察する。
・グローバルな視座から国際理解や国際協力の在り方を、地理的視座から地域的な視座から防災などの諸課題への対応を考察する。
・地図や地理情報システムなどを用いることで、汎用的で実践的な地理技能を習得する。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
・地理的事象の因果関係を写真や図表に着目し、相互の関連を考察することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・地理的事象や現代世界の諸課題について地理的・地域的特色との関連性や概念などを活用して多面的・多角的に考察できる。
【学びに向かう力、人間性等】
・地理的諸課題の具体事例から興味関心を高め、主体的に解決策を考える態度を養う。
・世界各地の生活文化の特色や現代世界が抱える諸課題を学び、地域の枠組みや人間の営みと関連付け異文化理解を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代世界の地域的特色とグローバル化や情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化を、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめようとしている。	地理的事象や現代世界の諸課題について地理的・地域的特色との関連性や概念などを活用して多面的・多角的に考察し、それらを基に効果的に発表や説明、議論しようとしている。	地理的事象や持続可能な社会づくりについて、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	地図でとらえる現代世界	地図と地理情報システム ・地球上の位置と時差 ・地図の役割と種類	a: 地図の読図などを基に, 地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について, 地図や地理情報システムなどを用いて, その情報を収集し, 読み取り, まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 b: 地図や地理情報システムについて, 位置や範囲, 縮尺などに着目して, 目的や用途, 内容, 適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し, 表現している。 c: 地図や地理情報システムについて, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。	考査 グループ協議 発表用紙 ワークシート	考査 グループ協議 発表用紙 ワークシート	グループ協議 発表用紙 ワークシート
		結びつきを深める現代世界 ・現代世界の国家と領域 ・グローバル化する世界	a: 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に, 方位や時差, 日本の位置と領域, 国内や国家間の結び付きについて理解している。 b: 現代世界の地域構成について, 位置や範囲などに着目して, 主題を設定し, 世界的視野から見た日本の位置, 国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し, 表現している。 c: 現代世界の地域構成について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。	考査 グループ協議 発表用紙 ワークシート	考査 グループ協議 発表用紙 ワークシート	グループ協議 発表用紙 ワークシート
	国際理解と国際協力	生活文化の多様性と国際理解 ・生活文化の多様性 ・世界の地形と人々の生活 ・世界の気候と人々の生活 ・世界の言語・宗教と人々の生活 ・歴史的背景と人々の生活	a: 世界の人々の特色ある生活文化を基に, 人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり, 影響を与えたりして多様性をもつことや, 地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 b: 世界の人々の生活文化について, その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して, 主題を設定し, 多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し, 表現している。 c: 生活文化の多様性と国際理解について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究, 解決しようとしている。	考査 グループ協議における発表	考査 グループ協議における発表 ノート	グループ協議における発表 ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度